



<掲載記事>

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| ○平成26年度各部の主要な研究課題と概要 | ○トピックス       |
| ・栽培部                 | ・にんにく栽培技術研修会 |
| ・品種開発部               | ・第1回夏秋イチゴ勉強会 |
| ・病虫害部                | ・ながいも栽培技術研修会 |
| ・共同                  | ・人の動き        |

平成26年度各部の主要な研究課題と概要

○栽培部

課題名：青森ブランド野菜の高品質安定生産・貯蔵技術の開発（県交付金）

特産野菜ナガイモ、ニンニク及び戦略的作目夏秋イチゴ等について、栽培場面や貯蔵・流通場面での課題を解決し、高品質安定生産技術を確立する。

課題名：ナガイモ産地生産力レベルアップ事業（県重点事業）

ナガイモ生産現場での土壌肥沃度の新たな簡易分析法を評価するとともに、追肥作業の効率化を図り、適正施肥等により、コストと環境負荷増大の抑制を図る。

課題名：高付加価値技術創出実証モデル事業（県重点事業）

ブランド力の向上が見込まれる品目として良食味の夏秋イチゴ品種「なつあかり」を取り上げ、高品質生産によるブランド化を図る。

課題名：冬の農業生産体制強化事業（県受託）

冬期間の野菜品目を増やすため、無加温ハウスで栽培可能な品目を探索する。

○品種開発部

課題名：特産野菜優良品種の育成（県交付金）

本県の特産野菜であるナガイモ、ニンニク、エダマメ、イチゴの4品目について、品質や収量に優れたオリジナル品種を育成する。

課題名：「伝統野菜」活用促進事業（県重点）

紅カブの在来品種「筒井かぶ」と「笹石（ざるいし）かぶ」を活用した地域振興に向けて、これらの品種の形質を維持するための採種を行う。

課題名：これまでの事業／ヒト介入試験に基づく、もち小麦からの新食感食品開発（農林水産省実用技術事業）

もち小麦のもつ機能性を活かした新商品の開発に向けた生産体制の構築を図るため、「もち姫」を対象に栽培マニュアル作成の基礎資料を得る。

課題名：畑作物の育成系統特性評価（国独法受託）

国独法が育成したソバ及びナタネの系統について、本県における地域適応性を検討する。

#### ○病虫部

課題名：気象変動や生物多様性に適応した特産野菜の安全・安心な病害虫管理技術の開発（県交付金）

ナガイモ、ニンニク、ゴボウ、果菜類などにおいて、気象や生物的要因を網羅的に解析し、総合的な防除技術を研究開発する。さらに、薬剤耐性菌や抵抗性害虫、ウイルス病のように薬剤防除が困難な病害虫に対応した、天敵や弱毒ウイルス、飛来防止技術などを総合的に組み合わせた病害虫管理技術を研究開発する。併せて、新規病害虫の迅速診断技術の開発や防除対策の試験研究も実施する。

#### ○共同

課題名：青森にんにく安心技術確立事業（県重点事業，栽培部・病虫部）

現地ニンニクの品質低下要因解明のため、栽培地域・条件の貯蔵品質への影響・流通場面での品質の実態を把握する。また、イモグサレセンチュウ被害を抑制するために、国内トップレベルの線虫・土壌微生物の研究機関との共同研究を実施して、革新的対策を構築する。

課題名：業務・加工に適したタマネギ品種及び栽培技術の開発（農林水産省委託プロジェクト，栽培部・品種開発部・病虫部）

業務・加工用に適したタマネギの品種及びそれらの品種に応じた栽培技術の開発を行う。特に、春播き栽培について、青森県における特性や病害虫の発生様相を把握し、安定栽培技術を開発する。

## トピックス

### にんにく高品質安定生産技術研修会

6月17日、当研究所において、県関係機関、JA全農あおもり、各農協から計53名の参加を得て開催されました。

最初に、県農林水産政策課の野呂主幹が、県内のにんにく生育状況と今後の管理について概説しました。その後、会議室や圃場において、乾燥技術と品質の確保、チューリップサビダニの防除、病害虫および生育障害の発生要因と対策等について研修を行いました。



### 第1回夏秋イチゴ勉強会

6月19日、四季成りイチゴ「なつあかり」の高付加価値技術創出実証モデル事業に関する説明と、関係者間の情報交換のための「勉強会」を計57名の参加を得て開催しました。

東北農業研究センター研究員による「なつあかり」の特性と電照についての講演の後、エムピーエムオペレーション（旧三菱製紙八戸工場）の新設ハウス視察と事業に取り組んだ経緯が紹介され、さらに「なつあかり」を栽培している八戸市市川町現地圃場の見学等が行われました。



### ながいも栽培技術研修会

7月17日、当研究所において開催され、県、JA全農あおもり、各農協から計37名の参加がありました。

最初に、作況圃場の地上部や掘り取ったいもを見ながら、生育状況と今後の管理について検討しました。その後、会議室において、離乳期の見極め方、病害虫の発生状況と防除のポイントについて研修を行った他、現在取り組んでいる「園試系6」の施肥基準作成に向けた現地試験の実施状況について紹介しました。



## 人の動き

### 1. 転出者（平成26年3月31日付）

職名	氏名	新所属・職
研究管理員	松田 正利	上北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室三沢分室 主幹
主幹	大沢 正和	上北地域県民局地域農林水産部指導調整課 主幹

### 2. 転入者・昇任者（平成26年4月1日付）

職名	氏名	旧所属・職
研究管理員	鎌田 直人	上北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室三沢分室 主幹
研究管理員 (昇任)	前嶋 敦夫	(地独) 青森県産業技術センター野菜研究所 主任研究員
主査	工藤 達哉	下北地域県民局地域農林水産部指導調整課 主査